

## 東京医科大学

### 学長挨拶

学長 鈴木衛

本学は発祥がユニークである。1916年、日本医学専門学校（日本医科大学）と450名が対立し、同盟退学して東京医学講習所を設立した。昨年100周年を迎えた。学生が自立的に学校を設立したという経緯から、モットーは「自主自学」。校是は「正義・友愛・奉仕」。ミッションは「患者さんとともに歩む医療人を育てる」。能動的な学習習慣の習得により、生涯にわたり研鑽を積むことができる。2019年には新病院が完成予定である。多くの学生に受験してもらいたい。

### 教育カリキュラムと求める学生像

呼吸器外科 池田徳彦

#### 本学の病院施設

東京医科大学病院・八王子医療センター・茨城医療センター

#### カリキュラム革新

医療のグローバル化によって、国際的に質の保証された医学教育を受け、質が担保された医師を育てる必要がある。本学はその改革に比較的早く取り組み、2014年4月から国際基準に則ったコンピテンス（学習成果）型のカリキュラムを開始した。

#### アドミッションポリシー（強調部分のみ抜粋）

- ・ 自己学習意欲が旺盛な人
- ・ 自ら問題を発見し、解決する積極性のある人
- ・ 積極的に他者と関わることができる人
- ・ 自らの使命を理解し、求められている役割を自ら果たそうとする人

## 教育到達目標 10項目

最も強調したいのは、

6. 能動的な学習習慣の習得により、生涯にわたり研鑽を積むことができる  
である。

## 教育の特徴

### 【その1：多彩な少人数教育】

- ・PBL チュートリアル…少人数グループ学習、学生主体の問題発見・発表、パソコンを使ったプレゼンテーション。
- ・最先端 ICT の活用…クリッカーを活用し、理解度を図る。

### 【その2：充実した英語教育と国際交流プログラム】

- ・1-4年にかけて医学英語を学ぶ。臓器別講義の中でも医学英語を扱う。
- ・ネイティブ・バイリンガルの講師を配置している。
- ・国際交流も積極的に行っている。台湾、韓国、アメリカなど16の姉妹校や提携校があり、国外からの留学生の受け入れも行っている。

### 【その3：1年生から始まる基礎医学・臨床実習】

#### <基礎医学>

- ・基礎医学系解剖学、生理学、分子生物学
- ・グループ別自主研究（4年次）→希望する基礎医学系の研究室に配属され、研究する。学年が進んでも研究室に出入りすることができ、英文の論文で報告することもできる。

#### <臨床実習>

- ・6年間で74週
- ・大学病院でシャドーイング（医師の行動についてまわる）、外来体験実習、エスコート実習、多職種連携実習、看護実習などを行い、患者さんに寄り添う心を持った医療を学ぶ心構えを学ぶ。

## クリニカルクラークシップ

- ・地域医療実習第3・5学年

- ・学外診療所での臨床実習
- ・協力医療機関を対象とした説明会
- ・標準的な実施マニュアル
- ・評価表の活用…形成的評価表を教員や患者からも評価される360度評価。

### ポストクリニカルクラークシップ OSCE

知識・技術だけではなく、病態の解析力や態度を評価する。

今後、国家試験も、知識のテストだけではなく、臨床のテストを重視するようになるのではないかと考えられる。

### 多職種と連携して教育を行っています

東京薬科大学・東京医大医学部看護学科・東京医大医学部医学科

→2大学3日のキャンパスにて4日間

### 医師国家試験合格実績

昨年は3位、過去5年では2位。

### その他

- ・本学は極めて部活動が活発です。
- ・新大学病院を建設中です。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会連携大学として、都心の中心に位置する災害拠点病院としての機能を整備します。
- ・昨年、日本医学教育評価機構（JACME）より、国際基準に基づく医学教育分野別評価認定を受けた。

### 外科医療の未来

呼吸器外科 梶原直央

本学を卒業して25年。普段どのような仕事をしているかをお話します。私は外科系の呼吸器外科に所属しています。

悪性新生物（がん）が死亡率一位になっています。その中でも肺ガンが胃がん

を抜いてダントツ1位。たくさんの患者が来られます。

東京医大病院では、**電磁誘導ナビゲーション法**を使って、実際に肺の中を覗き込むことができます。

**3次元解析システム**で立体的に肺や気管支をシミュレートすることができます。ロボット支援手術も導入しています。この分野は東京医科大学が最先端だと言えます。

### 【この講演に関連する情報】

#### 1. 日本の肺がん研究は東京医大から始まった

CTで発見されるような小さい肺がんが増えている。また、高齢の方の肺がん手術が増えている（80歳代が10%も）。このことから、体の負担が少ない「胸腔鏡手術」が急激に増加している。明日手術する患者の心臓をCT画像でシミュレーションするなど、最先端の治療を行っている。

#### 2. ロボット支援手術は東京医大が先駆けである

胆嚢摘出手術を遠隔で行うなどしている。最先端医療機器の導入もいち早く行っている。ダヴィンチ・サージカルシステム（遠隔手術をする器具）がその例である。目の前の患者の症例をデータベース化し、次世代医療の構築に活かすというシステムを構築している。

## 入試概要

生化学分野教授 宮澤啓介

推薦入試（一般公募20名・茨城県地域枠8名・山梨県地域枠2名）

- ・小論文・適性検査・基礎学力検査・面接などすべて点数化
- ・茨城県地域枠・山梨県地域枠もある。
- ・一般公募で、学校間格差はない。
- ・小論文は英文を読み、設問に日本語で答えるものがよく出る

### 一般入試（75名）

- ・1次試験は57.5%～67.8%の幅がある。
- ・2次試験：面接は、態度・姿勢・表現力を、アドミッションポリシーをもとに、チーム医療を担うための積極性・倫理観・マナーを見る
- ・2次試験：小論文のテーマは、医学系に限らず、著者の意図を問う問題などを出題する。高校生として理解ができる範囲での出題。400～600字程度。
- ・2次試験：適性検査は、性格診断で面接の資料となる。

### センター試験入試（17名）

- ・1次試験はセンター試験。
- ・合格基準点は昨年が86.7%。
- ・2次試験は一般と同じ。
- ・面接では、アドミッションポリシーを鑑みながら、様々な態度を見る。チーム医療を担う人材として伸びしろがある学生を評価したい。
- ・小論のテーマは医学に限らず、社会性や人間重視をした様々な分野から、課題文の要旨や、受験者の考えを問うものが出題される。400～600字で、課題はすべて日本語での実施である。

# 東京医科大学

Established in 1916

## 東京医科大学病院

1916年(大正5年9月)  
東京医学講習所開設



### 上高地診療所



1927年(昭和2年)  
東京医学専門学校高山医学研究所付属診療所開設



東京医科大学病院  
Tokyo Medical University Hospital



東京医科大学  
Tokyo Medical University



東京医科大学八王子医療センター  
Tokyo Medical University Hachioji Medical Center



東京医科大学茨城医療センター  
Tokyo Medical University Ibaraki Medical Center

### 八王子医療センター

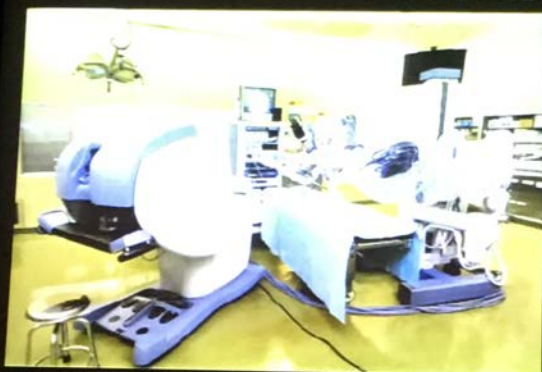
1980年(昭和55年4月)  
東京医科大学八王子医療センター開設

### 茨城医療センター

and the Hachioji Medical Center as  
affiliated hospitals in the Greater Kanto Area.

1949年(昭和24年9月)  
東京医科大学霞ヶ浦病院開設

## 東京医科大学 ロボット手術支援センター開設 2011年11月



### 日本初のロボット トレーニングセンター

2010年より国内初のI.S.社認定手術見学施設



ロボット支援手術トレーニング室

## 医師国家試験合格率（過去5年）

大学名	総計（過去5年）			
	受検者数	合格者数	合格率	順位
自治医大	543	539	99.3	1
順天堂大	537	526	98.0	2
東京医大	593	569	96.0	3
慈恵医大	515	494	95.9	4
慶応大	552	521	94.4	6
昭和大	630	578	91.7	10
日本医大	551	505	91.7	11
東邦大	562	511	90.9	12

以上